

日本文化研究(近代社会と文化) II

科目ナンバリング JLT-204
選択 2単位

中沢 紀子

1. 授業の概要(ねらい)

後期は、言語と社会との関係について考えていく。今期は主に標準語政策と方言など言語の観点から多様性について取り上げる。

2. 授業の到達目標

文化の多様性について、自分の言葉で説明ができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業・授業外の課題(30%)、ディスカッション等の授業への積極度(10%)、テスト(60%)

4. 教科書・参考文献

教科書

授業では、プリントを配布する。

5. 準備学修の内容

授業ではディスカッションやレポートを書く機会がある。準備学修では、そのために必要な文化事例の材料をそろえておくことが求められる。この材料については、授業時に指示する。

6. その他履修上の注意事項

方言を扱うことがあるが、この授業の狙いは方言の語彙を知ることではなく、方言を取り巻く背景を知ることにある。よって、方言の語彙、アクセントなどを知ることが目的にした授業ではないことをあらかじめ述べておく。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(授業の狙い:到達目標について説明する。アイヌ民族の歴史について復習する。)
- 【第2回】 先住民族の権利について学ぶ。
- 【第3回】 アイヌ語①(音韻・表記)
- 【第4回】 アイヌ語②(語彙・文法)
- 【第5回】 アイヌ語③(文法)
- 【第6回】 標準語①(標準語成立に至るまでの歴史を学ぶ。)
- 【第7回】 標準語②(標準語と共通語の違いについて学ぶ。)
- 【第8回】 標準語③(言語政策について学ぶ。)
- 【第9回】 方言①(方言の特徴について学ぶ。)
- 【第10回】 方言②(社会活動と方言について学ぶ。)
- 【第11回】 方言③(方言撲滅運動について学ぶ。)
- 【第12回】 実習(多様性について自分で調べ、それをまとめる。)
- 【第13回】 実習(多様性について自分で調べ、それをまとめる。)
- 【第14回】 テストと解説
- 【第15回】 LMS授業:到達目標の確認を行う。